

2020年3月の市場動向

株式市場

上旬は、米連邦準備理事会（FRB）が緊急利下げに踏み切りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大や石油輸出機構（OPEC）とロシアの減産協議決裂が嫌気されて、下落しました。中旬は、FRBのゼロ金利政策などの再開決定や欧州中央銀行（ECB）の量的緩和拡大にもかかわらず、景気後退懸念から大幅に下落しました。下旬は、日銀による上場投資信託（ETF）買い入れ期待や米景気対策法案への期待から米国株が反発したことなどから下落幅を縮小しました。

REIT市場

上旬は、FRBの緊急利下げを受けて米金利が大幅に低下する中、米国REITはほぼ横ばいで推移しました。一方、国内REITは国内株とともに下落する展開となりました。中旬は、世界景気後退懸念が強まる中、幅広いリスク性資産が売られ、日米REITともに大幅に下落しました。下旬は、米国REITが市場の流動性改善や米景気対策法案への期待などから、国内REITが日銀による買い入れへの期待などからともに下落幅を縮小しました。

債券市場

上旬は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界景気の悪化懸念や、原油価格の大幅下落、リスク回避姿勢などから、米金利は低下しました。一方、国内債は金利低下後、債券需給の緩みが意識されたことなどから、上昇しました。中旬は、米国債がもみ合う一方で、国内債は、大型経済対策に伴う国債増発懸念、欧州においては、経済対策にともなう財政出動への期待から、金利は上昇する展開となりました。下旬は、感染拡大によるリスク回避の動きから各国とも金利は低下傾向となりました。

為替市場

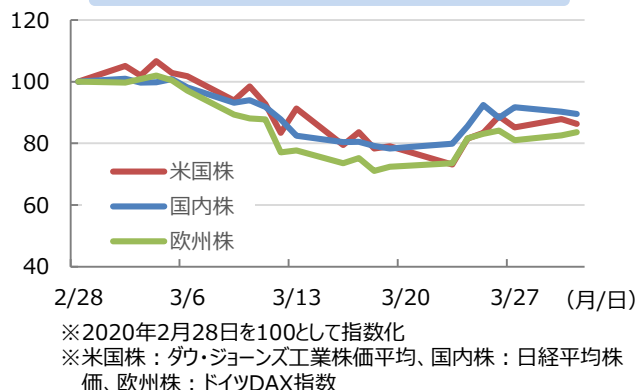
上旬は、FRBによる緊急利下げなどを受けて米長期金利が低下したことや、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落を背景とした、リスク回避姿勢の強まりなどから、米ドル安が進行しました。中旬は、世界的な米ドル資金の需要の高まりなどから、米ドル高の展開となりました。下旬は、FRBが無制限の量的緩和策を決定したことなどから、米ドル需給の逼迫懸念が後退し、米ドル高が一服する中、円およびユーロが上昇しました。

※期間：2020年2月28日～2020年3月31日（日次）

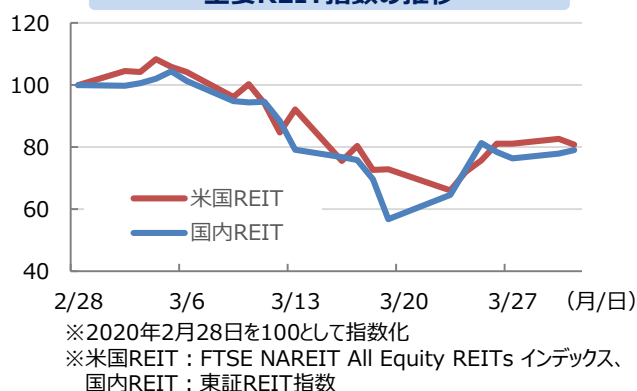
出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

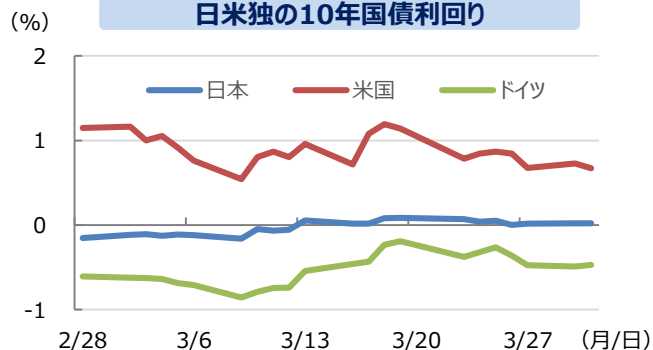
主要株価指数の推移



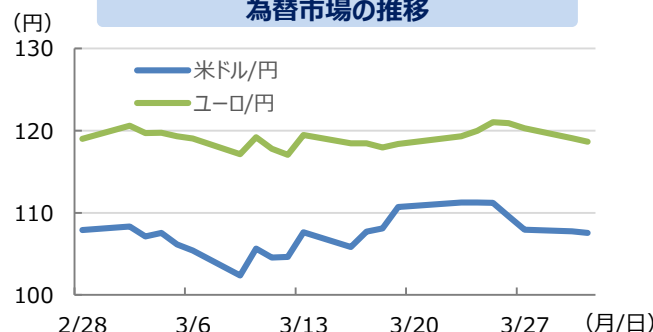
主要REIT指数の推移



日米独の10年国債利回り



為替市場の推移



※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-104-694 受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページアドレス <http://www.am-one.co.jp/>

各ファンドの運用実績（2020年3月末時点）

ファンド名	基準価額 (円)	騰落率		
		過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去3年
ハイブリッド証券ファンド 豪ドルコース	5,261	-16.7%	-20.1%	-17.3%
新光US-REITオープン（年1回決算型）	13,586	-19.2%	-21.3%	-6.6%
米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジあり>	9,041	-17.1%	-21.6%	-9.3%
新光US-REITオープン	1,905	-19.8%	-21.9%	-7.2%
米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジなし>	9,219	-17.8%	-22.3%	-6.9%
新光ブラジル債券ファンド	1,343	-15.4%	-22.7%	-24.2%
MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算コース	7,741	-19.7%	-23.2%	0.8%
DIAM世界好配当株オープン（毎月決算コース）	6,252	-16.8%	-24.2%	-14.1%
MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	7,886	-20.4%	-24.5%	-0.5%
新光J-REITオープン	3,618	-20.5%	-24.7%	-1.0%
DIAM J-REITオープン（毎月決算コース）	3,771	-21.1%	-25.0%	-0.6%
DIAM J-REITオープン（1年決算コース）	12,520	-21.5%	-25.4%	-0.9%
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド 円コース	7,744	-21.7%	-25.5%	-15.4%
ジャナス米国中小型成長株ファンド（年4回決算型）	7,256	-18.7%	-26.1%	0.9%
DIAMジャナス米国中小型株式ファンド	7,886	-18.7%	-26.1%	0.9%
米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース	2,669	-22.9%	-27.2%	-26.6%
サザンアジア・オールスター株式ファンド	9,293	-21.3%	-27.6%	-15.0%
DIAMワールド・リート・インカム・オープン（毎月決算型）	3,715	-26.0%	-27.9%	-10.8%
ハイブリッド証券ファンド ロシアルーブルコース	4,096	-25.4%	-28.2%	-15.1%
ワールド・インフラ好配当株式ファンド（成長型）	16,027	-24.3%	-28.6%	-14.0%
ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）	6,588	-24.3%	-28.6%	-14.1%
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>	1,238	-25.3%	-29.9%	-38.0%
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース	1,175	-23.6%	-30.3%	-31.5%
DIAM アジア消費&インフラ関連株式ファンド	8,026	-24.2%	-31.0%	-20.6%
新光ピュア・インド株式ファンド	8,704	-29.5%	-31.2%	-23.5%
新興国中小型株ファンド	6,761	-25.5%	-32.4%	-29.0%
DIAMベトナム株式ファンド	7,188	-27.3%	-33.3%	-18.5%
米国ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース	1,594	-27.4%	-33.8%	-37.4%
DIAMVIPフォーカスファンド	9,298	-27.1%	-34.5%	-25.5%
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド 豪ドルコース	4,285	-28.7%	-35.6%	-30.9%
日本製鉄グループ株式オープン	3,153	-17.2%	-36.0%	-46.2%
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド 南アフリカランドコース	5,902	-33.1%	-41.0%	-27.4%
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド ブラジルリアルコース	3,029	-33.0%	-41.6%	-41.5%
DIAMオーストラリアリートオープン	5,130	-42.4%	-44.3%	-36.8%
DIAMシェール株ファンド	4,120	-34.3%	-48.2%	-58.4%

※基準価額は信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。

※各ファンドの騰落率は分配金再投資基準価額より算出しており実際の投資家利回りとは異なります。各期間は基準日から過去に遡っています。

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

【指数の著作権等】

■日経平均株価は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、日経平均自体及び日経平均を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。■ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。■ドイツDAX指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はDeutsche Börseに帰属します。■東証REIT指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。■“FTSE”及び“FTSE®”は、London Stock Exchange Groupの商標であり、ライセンスに基いてFTSEが使用しています。FTSE NAREIT All Equity REITs インデックス（以下「本指数」）は、FTSEの商標であり、本指数の算出、指数値の公表、利用など、本指数に関するあらゆる権利はFTSE又はその関連パートナー会社と与えられています。FTSEは、本指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性について、明示的、黙示的を問わず保証するものではありません。また、算出又は公表の誤謬、遅延または中断に対し、一切責任を負いません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合があるため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは



商号等：東海東京証券株式会社

金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号

加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会